



各校の発表概要

プログラムNo.	A 1	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	虎姫・化学で遊び、楽しく学ぶカードゲーム製作委員会		発表人数
発表生徒名	宇野春菜、堂村健仁、橋本陽、安藤諒介、堀明日香		5
発表題目			
ChemiStrategy（仮）による化学コミュニティの形成			
発表内容のPR			
<p>「化学」と聞くと苦手意識を持つ人も少なくありません。実際、日本では化学分野への進学者や博士号取得者が減少傾向にあり、「リケジョ」という言葉が生まれたのも理系分野で学ぶ女生徒が少ない背景があります。私たちはこれらの問題を改善することを目指し、化学カードゲームの制作に取り組んできました。このカードゲームが、誰かの化学に興味を持つきっかけになればと願っています。</p> <p>私たちがつくったカードゲームは次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームやイラストにより化学に対する興味を醸成することができる ・カード名やフレーバーテキストにより化学の知識向上が期待できる ・ゲームのルールがシンプルでプレイ時間が短く、対戦しやすい ・カードゲームを通して有機化合物の内容を学ぶことができる ・対戦相手との駆け引きがあり、戦略性もあるので思考力、判断力の向上につながる <p>私たちと一緒にカードゲームを楽しみましょう。</p>			

プログラムNo.	A 2	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	伊香・KRMMY.S		発表人数
発表生徒名	清水玲奈、千田奏良、高橋月姫、高橋優月		4
発表題目			
地域と協働したカフェメニューの開発			
発表内容のPR			
<p>滋賀県ご当地グルメでおなじみのサラダパンを販売する「つるやパン」が運営するカフェ「Lib+（リブプラス）」で新しいカフェメニューを開発・販売しました！</p> <p>「つるやパン」の商品コンセプトを大切にしながら、地元の特産品の活用やフードロス削減、また高校生らしい青春を感じる商品など、様々なテーマをユニークな発想で開発し、8月23日の木之本地蔵縁日にて販売を行いました。販売商品は「青春どろだんご」と「恋みくじ♥ドリンク」！好評をいただき、予想を上回る売り上げとなりました。開発に至るまでのエピソードを、凝縮してお話させていただきます。どうぞよろしく申し上げます。</p>			
			

各校の発表概要

プログラムNo.	A 3	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	八日市・八日市高等学校 生徒会執行部		発表人数
発表生徒名	西川ちとせ、松村悠志、横山誠実、中川恵利、藤木彩文		5
発表題目			
八日市高校×東近江 棠楓祭から地域の活性化をめざして！			
発表内容のPR			
<p>本校は、全校生徒が学園祭を通して地域と交流し、地域を活性化する活動に取り組んでいます。その中でも学校周辺の7店舗と高校3年生7クラスそれぞれがコラボレーションした模擬店発表は、文化祭の柱の一つとして人気が高く、店舗や生徒だけでなく保護者等のInstagramなどのSNSで発信され、学校外でも注目されています。販売する商品は生徒がデザインしたものを、店舗と打ち合わせを重ね商品化します。教室を一つの店舗に飾りつけ、当日は店舗担当者の指導のもと共に販売します。全ての商品は本校学園祭限定のオリジナルで、各店舗にてレギュラーメニュー化され人気商品になったものもあります。その他、各部活動や各委員会ではキッチンカーとコラボレーションし、オリジナル商品を販売します。また、図書館をcafeにした2店舗とのコラボレーションと、豆本作製ワークショップを併催し、観覧に来た保護者も各店舗担当者も楽しむことができる学園祭を行っています。</p> <p>このような取組は、前年度のリーダー研修会という、校内のリーダーだけでなく地域社会で活躍できるリーダーを育てることを目的とした「学び」からスタートします。外部講師を招いての講演やディスカッションを通して、次年度の学園祭に活かせるよう参加者が自己をスキルアップさせる機会を設定しています。私たち生徒会執行部は、そのような環境も含め、3年をかけて東近江市と本校が交流ができる体制を地域の方々や全校生徒でつくってきました。</p>			

プログラムNo.	A 4	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	膳所・膳所高校放送班		発表人数
発表生徒名	藤内ひなた、伊藤杏、川路新歌、山川大貴、田中瑞陽		5
発表題目			
放送を通じた地域奉仕活動の意義			
発表内容のPR			
<p>私たちは、エフエムしがと協力し、一時間のラジオ番組を制作しました。その中で高校生のリアルな声を集めて取り上げることで、普段ラジオをきかない若者層がラジオに興味を持つきっかけをつくりました。番組の放送後にはたくさんの反響が寄せられ、エフエム滋賀、リスナー、高校生のそれぞれに利益をもたらすことができました。また、私たちはこの経験を生かして、本校生徒からおたよりを募集し、それらをもとに、昼休みの校内放送で短い番組を放送しました。</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	A 5	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	甲南・面心立方格子		発表人数
発表生徒名	未定		未定
発表題目			
薬膳五行カレーの開発 ～全国の薬業系高校生とともに～			
発表内容のPR			
<p>全国で4つしかない「くすりを学ぶ学科・系列」で学ぶ高校生が今年滋賀に集まり研究大会を開いた。その中で4つの高校の生徒が一緒になって考え作った五色のカレー。生薬としても知られるスパイスを用いたカレーはまさに薬膳。それを忍者の里らしくそれぞれ特色のある五色のカレーに仕上げ、将来的にはSAPAなどで買えるお土産に育てたいという取り組みです。また、甲賀のくすりコンソーシアムのイベントとも連携し、一般の方に向けた試食とシール投票も実施。くすりを学ぶ甲南高校バイオとかがく系列の「薬膳五色カレー」今年スタートを切った取り組み様子と、今後の展望を発表します。</p>			

プログラムNo.	A 6	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	愛知・有限会社愛知高校		発表人数
発表生徒名	山脇街流、梅原徹、田井中天雅ほか		5
発表題目			
有限会社愛知高校の取組について			
発表内容のPR			
<p>私たちはこの春、学校内に「有限会社愛知高校」を立ち上げ、全校生徒に入社を呼びかけました。今年度の主な活動は、地域の祭りに出店することです。8月31日の宿場祭りに向けて、どのような商品を販売すればよいか社内で議論し、家庭部と協力し、購入者に使っていただける小物入れとマグネットを作ることにしました。使用する布は①本校隣にある「近江上布伝統工芸会館」で購入した布②SDGsの観点から家庭科の授業での残布③本校と愛知高等養護学校との共同学習の時間の「織り体験」で、本校生徒が織り上げた布の3種類を活用しました。7月の家庭科の授業と放課後の家庭部の活動時間に作製しました。これらと、ゲームの結果によりお菓子がもらえる企画やジュース販売の準備を夏休み中心に行いました。しかし、いよいよという時に台風が来て、祭りは残念ながら中止になりました。落ち込みましたが、すぐに10月19日の近江鉄道にぎわいづくりDAY「ガチャフェス」での出店を検討し、実現にこぎつけました。10月14日富山駅での「とやまワカモノ・サミット2024」の開催を知り、視察に行かせていただいて、同じ世代の取組から、刺激を受けました。今年度立ち上げた「有限会社愛知高校」を来年度は「株式会社愛知高校」にできるよう活動を進めています。</p>			




各校の発表概要

プログラムNo.	A 7	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	彦根東・彦根東高校 Global Science 部社会科学班		発表人数
発表生徒名	矢掛善耀、諸頭純、小谷優介、巴芳代子、戸田万祐子		5
発表題目			
彦根麦酒プロジェクト 麦芽粕を使って彦根で地域おこしにチャレンジ！			
発表内容のPR			
<p>私たちは彦根市にある問題に着目し、その問題の解決を目指して活動しています。また、その活動を通して地域の人と人をつなぐ架け橋になり、彦根市の地域活性化に寄与することも目的としています。そこで私たちは麦芽粕の廃棄問題に着目しました。麦芽粕とはクラフトビールを作る際に廃棄されてしまう搾りかすのことで、その廃棄量は全世界で問題になっています。彦根市にも彦根麦酒というクラフトビールの醸造所があり、私たちは彦根麦酒のかたに協力していただき、麦芽粕の廃棄問題の認知度向上や廃棄量減少に向けた活動を行っています。</p>			

プログラムNo.	A 8	エントリー	アントレプレナーシップ成果発表会
学校・チーム名	八幡工業・八幡工業高校電気科 イルミネーションイベント班		発表人数
発表生徒名	名越頼里、蓑田侑真、藤松凌輝、安田和眞、斑目幹太、西村貴志		6
発表題目			
きらめく KANEDA の夜～イルミネーションで地域に笑顔を～			
発表内容のPR			
<p>工業高校で学んだ知識を活かして地域活性化に取り組みたい！！地域の人を楽しんでもらえるイベントをしてみたい。その思いでイルミネーションイベントに参画して今年で2年目。</p> <p>今年は金田コミュニティセンター・八幡工業高校の連携に加え、新たに八幡東中学校とタッグを組んでクリスマスイルミネーションイベントを盛り上げます！！昨年度からパワーアップした光のトンネルをはじめ、点灯式ではプロジェクションマッピングでクリスマス気分を満喫できます。</p>			



各校の発表概要

プログラムNo.	T 1	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	彦根工業・研究グループ		発表人数
発表生徒名	山本莉子		1
発表題目			
カーボンニュートラルとオーストラリア留学			
発表内容のPR			
<p>学校で取り組んできたカーボンニュートラルの活動やバイオプラスチックでの作品の製作、それらを通して挑戦したオーストラリア留学について発表します。</p>			

プログラムNo.	T 2	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	高島・高島高等学校総合探究チーム		発表人数
発表生徒名	光田芽以、芝楓太、星野槍太、安本彩季		4
発表題目			
滋賀県高島市の魅力を発信する効果的な媒体の検証について			
発表内容のPR			
<p>私たちは高齢化や人口減少が進む滋賀県高島市を活気づけるため、観光業にフォーカスをあてた探究活動をしています。高島市には魅力的な観光スポットがたくさんありますが、あまり知られていないように感じました。そこで私たちは高島市の魅力を高島市内外の多くの人たちに伝えるため、魅力の伝わる動画を作成しました。</p> <p>まず、高島市内の観光スポット(箱館山、びわ湖こどもの国、道の駅藤樹の里あどがわ、メタセコイヤ並木)を訪問し、フィールドワークを実施しました。そして、各観光スポットの魅力が伝わるよう、工夫しながら動画を撮影し、動画編集を行いました。</p> <p>次に、昨年度の探究チームが紙媒体で観光地のパンフレットを作成していたので、動画と紙媒体でどちらがより魅力が伝わるか、高島市内外に住む人たちにアンケート調査を実施して検証することにしました。そのアンケート調査結果を踏まえて、情報発信の手段を決定する予定です。</p> <p>今後は高島市内の宿泊施設へのインタビューを実施し、新型コロナウイルス感染拡大前後で観光客に変化が生じたのか等について掘り下げていき、地元の観光業に携わる方の声も反映させた動画にブラッシュアップしていく予定です。</p>			



各校の発表概要

プログラムNo.	T 3	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	甲南・チーム スフィア		発表人数
発表生徒名	吉田舞梨、劉佳恵		2
発表題目			
デジカメ分光吸光分析			
発表内容のPR			
<p>先輩から引き継ぎながら、その年その年に進めてきた取り組みの概要をまとめました。</p> <p>デジカメを使った分析装置の可能性と機器の小型化、操作の簡便化を目指して取り組みを進めてきました。先輩たちの様々な実験と知見の上に立ち、今年で3年目。今年は積分球を模した装置を自作し、試行錯誤を繰り返しています。</p> <p>今回の発表では自分たちの取り組みはもちろん、先輩たちが取り組んできた道筋に沿って研究を総括し、多くの人に分析装置としてのデジカメ活用の可能性を知ってもらい、小中学生の自由研究や、製造現場などでの簡易検査の可能性など「デジカメ分光吸光分析」について知ってもらえたらと思います。</p>			

プログラムNo.	T 4	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	長浜農業・食品科 農産物利用分野		発表人数
発表生徒名	増山鳳華、山口芽咲、西岡優里香、小林瑞希		4
発表題目			
「たかつきメロン」を救え！ ～地域課題に立ち向かう高校生たちの挑戦～			
発表内容のPR			
<p>みなさんは「たかつきメロン」を知っていますか。たかつきメロンとは滋賀県長浜市高月町に伝わる特産品の1つで、40年以上も昔から栽培されてきた貴重な果物です。加えて、近年は生産者の高齢化と後継者不足により生産量が低下。メロンは収穫後の鮮度維持の期間も短く、市場に出回る期間も短いことから消費者の手に満足に行き届いていないのが実情です。また、市場出荷できない有効果実（約2割）の存在を知り、私たちは1つでも多くのたかつきメロンを流通させ、1人でも多くの人たちに触れ合ってもらえるように、日頃のジャム製造の技術を応用させ、保存食であるジャムの製造に取り組みました。ウリ科に属するメロンは、他の農産物とは異なるその独特の風味と特性から、試作品製造は困難を極めました。何度も試作を重ね、メロンの風味と甘さをそなえたジャムに仕上がりました。</p> <p>私たち高校生の手づくりの製品を通して、ふるさとのあり方について一緒に考えてみませんか？</p>			



各校の発表概要

プログラムNo.	T 5	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	大津商業・高校版 DMO 観光ビジネスプロジェクト ここ滋賀班		発表人数
発表生徒名	奥村陽詩、山田妃陽、山中奏空、清水芽李亜、高橋佳愛、田中悠翔、田中南実		7
発表題目			
観光事業による地元企業の活性化について			
発表内容のPR			
<p>本年度より、大津商業高校を拠点校とし、学生が主体となり、びわこビジターズビューロー等と協働し、高校版 DMO「観光ビジネス推進協議会」を構築いたしました。この事業は、観光を通じて滋賀の地域経済活性化を図り、次の時代を担う人材を育成することを目標にしております。今年度は東京：日本橋にある「ここ滋賀」での販売実習を一つのゴールとし、以下の3つを中心に活動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①滋賀の特産物のPR・販売 ②滋賀の伝統産業の後継者不足解消を目的とした販売活動 ③誘客に必要な情報をアンケート調査し、地元企業への還元 <p>この経験を活かし、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」である社会人基礎力を伸ばしていきます。滋賀の未来を創造し、アントレプレナーシップ精神を育成し、地元企業を盛り上げるにより活性化につなげ、滋賀の発展に貢献できる社会人になれるように活動していきます。</p>			
		 	

プログラムNo.	T 6	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	膳所・理数探究5班		発表人数
発表生徒名	赤坂和花、田上新之助、田村絢乃、堤蒔悟、北川裕樹、村田日向		6
発表題目			
衝撃をうまく吸収するフェンスの編み方			
発表内容のPR			
<p>私達はフェンスの形状とその効果について研究しています。</p> <p>具体的には、フェンスの網目の形とフェンスがどのように衝撃を吸収するかについて実験を行いました。“フェンス”という身近なものにもおもしろさがあることを感じていただければ幸いです。(実は、フェンスには230km/hの車の衝突に耐えられるなど、すごいものもあります。)</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	T7	エントリー	探究的な学習発表会 登壇発表
学校・チーム名	虎姫・虎姫高等学校究理ⅡL17班		発表人数
発表生徒名	八島柊花、氏原桜、落合悠羽、田附希美、安本結衣		5
発表題目	5（ファイブ）link プロジェクト		
発表内容のPR			
<p>「5 linkプロジェクト」は、学童に通う子どもたちに様々な経験をする機会や、より多くの居場所を作りつつ、地域内での交流を盛んにするための取り組みです。初めは学童に通う子どもたちに様々な経験をする機会を作ってあげたい、という思いから生まれたものでしたが、話し合いを重ねていくうちに、もっと活動を広げることができたら、学童の子どもだけでなく、もっと多くの人のためになることができるのではないかと考えました。そこで、学童に通う子どもたちだけでなく、その地域に住む中高生や年配の方にもつながる活動として「5 linkプロジェクト」を考えました。</p> <p>具体的な取り組みとして、学童に通う子どもたちと地元の中高生との交流イベント、学童と子ども食堂のコラボなどを考えています。このプロジェクトの名前である「5 link」は、このプロジェクトが①学童に通う子どもと中高生②学童に通う子ども同士③同じ夢を持つ中高生同士④地域と子どもたち⑤子どもたちの未来 を結びつけるものであることを表しています。今後はどのようにしてこのプロジェクトを実施していくのかを詳しく考えていきたいです。</p>			

高校生による【しが】 学びの祭典2024



次代を拓く 高校生の好奇心
未来を変える 高校生の探究力


ポスター原画：粟東高校美術科3年 山内心桜「日々暮々」

令和6年 12月25日(水) プロシードアリーナHIKONE
彦根市スポーツ・文化交流センター
滋賀県彦根市小泉町640番


【主催】 滋賀県教育委員会 【協賛】 滋賀中央信用金庫
【発表者】 滋賀県内の高校生等 【参加者】 小中高生、保護者等
【実施内容（予定）】

- ・アントレプレナーシップ成果発表会
起業家精神を育む生徒の地域活性化プラン・ビジネスプランのコンテスト
- ・探究的な学習発表会
生徒の優れた探究学習の成果発表。外部研究者・指導者との質疑応答
- ・探究的な学習ポスター展示会、販売会
滋賀県内の高等学校の特色ある学びの紹介、探究学習の成果物の販売会

一般の方の参加も可能です



HP(随時更新)



Instagram


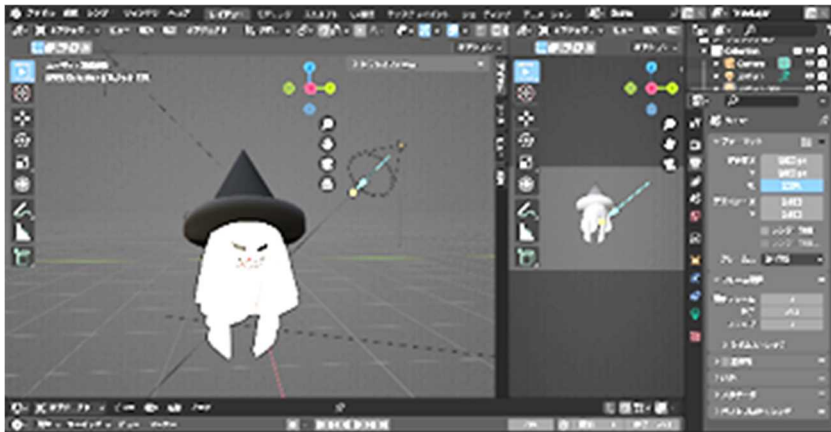
<https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/school/tokusyoku/325477.html>
 お問い合わせ先: 滋賀県教育委員会事務局 高校教育課 077-528-4575

各校の発表概要

プログラムNo.	H1	エントリー	販売会
学校・チーム名	八幡商業・近江商人再生プロジェクト天八商店		発表人数
発表生徒名	坂田ちはる、佐山湖南、大野颯大、輪違なつみ、塚本莉央		5
発表題目			
特産品とてんぱちくんグッズの販売 近江商人再生プロジェクトのパネル展示			
発表内容のPR			
<p>八幡商業高校の特徴的な取り組みである近江商人再生プロジェクトのメンバーが、地元である近江八幡市や県内外の特産品を販売します。また、本校のマスコットキャラクターである「てんぱちくん」も参加し、てんぱちくんグッズを販売します。同時に近江商人再生プロジェクトの活動内容をパネル展示します。</p> <p>今回販売するのは、そのてんぱちくんのグッズで、てんぱちくん付箋（100円）とてんぱちくんキーホルダー（100円）です。近江八幡市の特産品や県内外の商品も販売予定です。是非お越しください。</p>			


プログラムNo.	H2	エントリー	販売会
学校・チーム名	虎姫・滋賀県立虎姫高校新聞部2班		発表人数
発表生徒名	小川倫輝、松井稜叡、渡辺真白、川村彩日、法邑琉生		5
発表題目			
めざせ資源の地産地消！お米でできたプラ製品で地域の魅力を発信			
発表内容のPR			
<p>お米から作った武将クリアファイルを販売します。SDGsにも配慮した製品で、収益はすべて小谷城の保全に使われます。武将のイラストはすべて虎姫高校新聞部のデザインです。このビジネスアイデアは昨年度の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」で近畿経済産業局長賞を受賞するなどしています。みなさん、是非長浜出身のかっこいいイケメン武将に会いにきてください！</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	K 1	エントリー	体験会
学校・チーム名	東大津・東大津高校		発表人数
発表生徒名	洞海來斗、帆足颯真		2
発表題目			
僕たちにもできる！VRゲームづくり Let' s Play Shooting Game			
発表内容のPR			
<p>龍谷大学先端理工学部と協働してVRシューティングゲームを作成しました。その制作過程や意図、完成品を提示し、発表したいと考えています。</p>			
			

プログラムNo.	P 1	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	彦根東・彦根東高校スクールドッグプロジェクト		発表人数
発表生徒名	溝口耀太、平尾真優、井関洸太、深尾聡汰、柳内悠里、加藤咲樹		6
発表題目			
彦根東高校スクールドッグプロジェクト			
発表内容のPR			
<p>彦根東高校に在学する高校生が、普段どれほどのストレスを抱えているのか、そして、スクールドッグを取り入れることによってストレスが改善するかどうかの実験の結果を発表します。</p> <p>生徒が快適に過ごすことのできる学校をつくることを目指した活動の発表です。</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	P 2	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	虎姫A・滋賀県立虎姫高等学校新聞部1班		発表人数
発表生徒名	森萌彩、山本惺太、沓水文吾		3
発表題目			
川で遊んで生態系を守ろう！楽しく遊べる長浜へのお誘い			
発表内容のPR			
<p>長浜市中心部を流れる川の一つに米川という川があります。米川は長浜市にある黒壁スクエア周辺を流れており、アユやサワガニをはじめとしたさまざまな生物が生息しています。このプランは川の中で喫茶店を開き、大人には憩いの場として、子どもには川の中で遊び、学ぶことのできる場を提供するサービスです。川歩きをすることで川の中の環境が変化し、魚が住みやすい環境に変化することから、人が遊びながら環境保全を行うこともでき、「遊び」と「学び」と「環境保全」が一体化したプランで、長浜の魅力をアップして、長浜の賑わいを生むことを目指しています。</p>			

プログラムNo.	P 3	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	虎姫B・虎姫高等学校究理ⅡL12班		発表人数
発表生徒名	西川日菜、ルイスヒロシ、広瀬里奈		3
発表題目			
色々な世代が楽しめる体験型施設について			
発表内容のPR			
<p>滋賀県北部に住んでいる私たちは、「都会にある施設が近くにできたらいいな」「滋賀県北部はなんだか活気がないな」と常々思います。私たちは、滋賀県北部にコミュニティで交流できるものがない、また、いろいろな世代に向けた施設や飲食店を増やしたいといった滋賀県北部を活性化したいという考えから「いろいろな世代が楽しめる体験型施設について」というテーマについて研究しており、最終的には理想の体験型施設を作る提案をしたいと考えています。</p> <p>そこで私たちは滋賀県で最も観光客が訪れていて、全国的にも有名な施設である「ラコリーナ近江八幡」に夏休みにフィールドワークとして行ってきました。現地では担当の方に聞き取り調査をしたり、工場見学をしたりして、いろいろな世代が楽しめる工夫や人気の秘密などを教えてもらいました。これまでたくさん調べ学習、話し合っていくうちに気づいたことやこれからの活動に向けて考えていることを私たち高校生目線から伝えます。</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	P 4	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	虎姫C・虎姫高等学校究理ⅡL21班		発表人数
発表生徒名	高橋咲樹、馬場理香子		2
発表題目			
6次産業を活かして特産品を広めよう			
発表内容のPR			
<p>私たちは、滋賀県の長浜市を活性化するプランを作りました。現在長浜地域は進学や就職による人口流出が止まらず、UターンやIターンも少ないという状況にあります。その中で地域を活性化し、今長浜市にいる若者がこの先も長浜市に住み続けてくれたり、Iターンによって他の都市からの移住者を増やしたりするためには、長浜市の特産品をたくさんの人に知ってもらい、長浜市ひいては滋賀県の魅力を知ってもらうことだと考えました。</p> <p>そこで、具体的には、長浜市が進めている6次産業について注目しました。その過程では、地域資源と地域の産業とのコラボレーションが必要だと考え、地元の製品を使った特産品を自分たちで作ろうとしています。今後はその案を、地元のお店やスーパーなどへ提案したいと思っています。</p>			

プログラムNo.	P 5	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	草津・保育&地域研究分野グループ		発表人数
発表生徒名	未定		未定
発表題目			
こどもと学校の未来を草津市につなげよう！			
発表内容のPR			
<p>草津高校では、近隣の保育園の4歳児・5歳児園児に向けて、『草津の昔話や有名なものなど』を紹介するという取り組みを行っています。パネルを用いて、紙芝居風に紹介を行う予定です。ただの紹介ではなく、発表当日、現地にて、一緒にパネルの色塗りや飾りつけを行うなど、交流することを考えています。発表前に、小道具を用いて、園児たちの緊張をほぐすアイデアも準備しています。</p> <p>高校生みんなに行ったアンケートの中から、子どもや地域に興味を持っているというところから、何ができるか考え、保育園と相談を行い、活動を進めてきました。園の先生方も、温かく受け入れてくださり、講師の先生からも様々な発想をいただきました。</p> <p>今まで行ったことのない活動であり、どこまでうまくいくのか分かりませんが、楽しみながら現地での紹介（発表）に取り組んでいます。どのようなパネルを作ったのか、また、園でどのような反応が得られたのか、今回の成果発表で紹介したいと思います。</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	P 6	エントリー	ポスター発表
学校・チーム名	守山北・守山北生徒会		発表人数
発表生徒名	保智皐、山本真里香、高橋玲唯		3
発表題目			
ショウガでSDGs			
発表内容のPR			
<p>守山北高校がある笠原町には、笠原ショウガという特産品がある。ショウガは親ショウガから生えてくる子ショウガを収穫して販売されている。多くの農家でこの親ショウガは販売することはなく、サービス品として配られたり、廃棄されることが多い。笠原ショウガの特徴、親ショウガと子ショウガの違いについての研究を行い、笠原ショウガの新たな可能性を見出していく。</p>			

プログラムNo.	P 7	エントリー	ポスター展示
学校・チーム名	八日市南・花緑デザイン科 造園技術班 2年		発表人数
関係生徒名	中村春瀬、中西晴郁、福井このみ		※展示のみ
発表題目			
庭木管理者の高齢化に伴う新規従事者の育成			
発表内容のPR			
<p>わたしたちは地域の環境整備について、注目しました。地域の環境整備は多岐にわたります。個人宅や施設等の樹木・除草管理や河川堤防の除草管理、街路樹の管理などです。仕上がりにこだわらなければ、格安でシルバー人材センターに依頼する方法もありますが、近年シルバー人材センター登録者の高齢化により樹木の剪定を依頼しても断られる現状が見えてきました。造園業者に依頼すると、需要過多のため、新規の場合は断られる場合も多く、困っておられる方も多いため、新しい担い手が必要です。また、本校では、例年、数名の女子が造園業への就業を希望するが、体力面や職場環境であきらめる生徒もいます。女子でも無理なく作業できる仕事を差別化し、従来の造園業とすみ分けることはできないか検証します。</p>			

各校の発表概要

プログラムNo.	P 8	エントリ	ポスター展示
学校・チーム名	虎姫・虎姫高校リード琵琶プロジェクト実行委員会		発表人数
関係生徒名	森田大河、中山壘、藪中楓人、宇野春奈、西村俐未来、五坪菜湖、青木紫音、濱洲昂佑、伊藤桜雅、安藤諒介、谷口桜子		※展示のみ
発表題目			
リード琵琶プロジェクト ～ヨシを用いて守る日本の水源～			
発表内容のPR			
<p>リード琵琶プロジェクトでは、琵琶湖周辺の持続可能な資源であるヨシを活用し、自然分解可能な環境に優しい製品の制作を行いました。この取り組みを通じて、エコ消費や環境保護の重要性を発信し、多くの人の環境意識を高めることを目指します。また、地域資源の価値を創出し、社会と環境に配慮した新たな需要を生み出します。ヨシから生まれる製品の可能性を広げ、地元と共により良い未来を築く一歩を踏み出します。</p>			
			

